

日本助産師会熊本地震災害支援活動報告（第2報）

平成28年11月16日

日本助産師会（本会）では4月14日の地震発生直後から熊本県助産師会と九州地区助産師会との連携のもと、支援活動を展開してまいりました。

・「熊本友の家」における「友の会」会員と熊本県助産師会会員による支援活動

「熊本友の家」において、「友の会」会員と熊本県助産師会会員の協力で母子福祉避難所は4月23日から5月21日まで開設されました。日本助産師会ボランティアについても九州地区から4名派遣し、母子支援活動を実施しました。

・日本助産師会会長による熊本県訪問

本会では二度にわたり、熊本県助産師会を訪問しました。

・5月4日（岡本会長、葛西専務理事）

熊本県助産師会坂梨会長、支援活動に当たっている会員から直接状況をお聞きしました。母子が避難所を避けて車中泊している状況等を伺いました。

・9月15日（岡本会長、葛西専務理事、小池事務局長）

熊本市市民病院の地震被害により、助産所の嘱託医療機関確保の危機が起こっていましたが、諸々の機関への働きかけ、協力により確保の問題が解決していました。本会からの支援金の他、企業、団体様からのご支援により、産後訪問、母子へのサロン活動などが、熊本県助産師会会員によって実施されておりました。今回は特に地域で活動する助産師が、地域状況を知った効果的な支援を展開しています。自ら被災した会員も多い中で、助産師の責務を果たされておりました。

・九州地区助産師会の支援活動

産後ケア施設等での被災母子の受け入れ、母乳ケア支援等、九州地区の助産師会会員によるボランティア活動が行われました。

・ご協力、ご支援賜りました団体、企業様への感謝状贈呈

物資支援、また多額の寄付をいただきました以下の団体、企業様等に感謝状をお渡ししておりますのでご報告申し上げます。

- ①全国友の会様 代表 山崎みどり様
- ②大衛株式会社様 代表取締役社長 加藤光司様
- ③コンビ株式会社様 代表取締役社長 五嶋啓伸様
- ④公益財団法人ジョイセフ様 会長 明石康様
- ⑥株式会社ミルクティー様 代表 金美里様
- ⑦有限会社 FUNAZAWA 様 代表取締役 船澤泰隆様

・熊本県助産師会会員による被災母子支援の今後と支援会員へのこころのケア

仮設住宅等に入居されている母子向けにサロン活動を継続していく予定と伺っております。また、日本助産師会では支援活動を続けてこられた助産師に対してこころのケアを実施していく予定です。

・災害時の母子支援に対する課題

今回の地震支援では、厚生労働省、関連団体とともに連携協力しながら活動してまいりました。今後の災害の備えとして以下の課題が考えられます。

- ①平時から国民への災害時の母子に対する理解を深める必要があります（家族等の世話をするという女性役割意識は災害時には自他ともに強く意識されます）。
- ②母子福祉避難所は発災時に開設できるような日頃からの準備が必要です。

これからも支援活動は継続されます。皆様に温かく見守っていただければありがたいと存じます。